

令和2年度 椋山女学園大学振興会会報

令和2年度「父母の集い」「社会見学会」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりましたのでお知らせします。

CONTENTS

- 1 会長挨拶・学長挨拶
- 2 令和元年度事業報告
- 3 令和元年度決算及び会計監査報告
- 4 令和2年度役員・会計監査・評議員・顧問
- 5 令和2年度事業計画
- 6 令和2年度収支予算
- 7 会則

1 会長挨拶・学長挨拶

椋山女学園大学振興会

会 長 北 原 大 志

大学振興会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は椋山女学園大学振興会にお力添えを賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の役員会・評議員会は中止となりましたが、書面会議での決議にて私が会長の大役を仰せつかりました。何分にも不行届きではございますが、大学及び大学振興会の発展のため尽力してまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症ですが、日本でも第二波・第三波に対しての策を講じつつ経済活動を進める段階になっています。学生の皆さんもこのような環境の中、それまでと同じように出来る事、新しい枠組みの中でしか出来ない事、その時その時の状況に応じて臨機応変に対応しなければなりません。授業だけではなく就職活動においてもオンライン化が進み、物事が思うように進まない一年になるかと思いますが、この経験を活かして次の時代に活躍できる人材に成長していただきたいと思っております。

大学振興会では、長期戦とも言われている with コロナの環境下でも充実した学生生活を送れるような様々な補助事業を通して大学の振興と発展を支援してまいりたいと考えております。

今後とも大学振興会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

椋山女学園大学

学 長 後 藤 宗 理

大学振興会会員の皆様におかれましては、日頃より椋山女学園大学にお力添えをいただき心よりお礼申し上げます。

さて今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、入学式をはじめほとんどの行事を中止せざるを得ませんでした。開学71周年を迎える本学にとりましては経験したことのない事態ではありましたが、学部新入生1,416名を迎えることができ、全体の在学者数は6,064名となっています。

前期の授業は、いわゆる「新しい生活様式」を考慮したうえで5月11日から遠隔授業でスタートいたしました。学生の通信環境の整備を目的として、大学は修学支援金の支給をはじめ種々の対策に取り組んでおります。今後の対面授業への切り替えに必要な環境整備には大学振興会のご支援をいただき、誠にありがとうございました。

学生生活の最大の行事である大学祭やクラブ・サークル活動も従来の形には戻っておりません。またご父母の皆様においても、交流を深める機会である「社会見学会」および「父母の集い」も中止となってしまいました。そのような事情から動画配信によって大学の現状と学内の様子をお伝えすることにいたしました。

この社会環境の変化が新しい大学の在り方を考えるきっかけとなるように、教職員一同力を合わせてまいりますので、今後ともご理解賜りますようお願い申し上げます。

2 令和元年度事業報告

1. 補助関係

① 課外活動補助

クラブ・同好会（合計55団体）に対して総額5,366,007円の課外活動補助を行った。

② 課外活動学生傷害補助

補助を行っていない。

③ 大学祭等行事費補助

令和2年10月19日（土）・20日（日）に開催された梶大祭（テーマ『WA!!!』）及び入学式の祝い花等に対して総額1,828,485円の補助を行った。

④ 海外留学補助

以下のとおり補助を行った。

派遣留学：2名に200,000円

認定留学：1名に100,000円

中期留学：6名に600,000円

⑤ 就職活動補助

学生の就職活動補助として、キャリアガイドブック、マナー講座等、総額3,000,000円の補助を行った。

⑥ 学部補助

各学部で実施する学生生活振興事業に対し、総額1,210,953円の補助を行った。

（内訳） 生活科学部	=220,000円
国際コミュニケーション学部	=197,640円
人間関係学部	=190,611円
文化情報学部	=209,995円
現代マネジメント学部	=161,570円
教育学部	=143,537円
看護学部	=87,600円

⑦ 事業補助

学生寮で暮らす学生対象の寮会開催及び徳川美術館メンバーシップ、名古屋市博物館申込、ベストティーチャー賞等に対して総額624,190円の補助を行った。

※ R元ベストティーチャー：生活科学部 阿部 順子准教授

⑧ 慶弔費

以下のとおり、総額40,000円補助を行った。

香典：4件

2. 事業関係

① 図書、備品等充実

学生生活のより一層の充実に寄与すべく、図書館においては、図書（振興会文庫）や図書備品、学部においては、傘立て等を購入した。（総額2,629,200円）。

② 卒業記念品の贈呈

卒業生に卒業証書ファイルを記念品として贈呈した（総額772,200円）。※ 卒業式については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

③ 「社会見学会」の実施

令和元年11月2日（土）

神戸（神戸港ランチクルーズ・元町・南京町自由散策）

参加父母数104名（総額1,627,546円）。

④「父母の集い」の開催

令和元年9月28日（土）に星が丘キャンパスにおいて「父母の集い」を開催し、総額2,517,334円の補助を行った。

概要は以下のとおり。【参加者：ご父母391名】

- ①大学の現状報告
- ②就職説明会
(就職事情説明会、教育学部対象就職説明会、看護学部対象就職説明会)
- ③講演会
講師：林真理子氏
演題：小説を書く時間
- ④レセプション（教職員との懇談会）
- ⑤保護者相談会
- ⑥キャンパス見学ツアー

3. 会議関係

1) 第1回役員会・評議員会

日時 令和元年6月10日（月）16:00～20:30

場所 名古屋ガーデンパレス

出席者 役員・評議員68名

- ①平成30年度会計監査
- ②令和元年度役員選考委員会
- ③旧役員会・評議員会

議事 ○平成30年度事業報告について
○平成30年度決算及び会計監査報告について
○令和元年度新評議員選出について

(以上、いずれも承認)

④新役員会・評議員会

議事 ○新評議員紹介について
○令和元年度役員・会計監査について
○令和元年度事業計画（案）について
○令和元年度予算（案）について
○その他

- ・令和元年度「父母の集い」について
- ・令和元年度「社会見学会」について

(以上、いずれも承認)

⑤懇親会（出席者：役員・評議員66名、顧問10名）

2) 第2回役員会・評議員会

日時 令和元年7月9日（火）10:30～13:00

場所 星が丘キャンパス 椋山人間交流会館1階 キャリア教育推進ルーム

出席者 役員・評議員52名

顧問 9名

議事 ○令和元年度「父母の集い」の開催について
○令和元年度「社会見学会」の開催について
○令和2年度役員選考委員の選出について

(以上、いずれも承認)

※会議終了後、学食で昼食

3

令和元年度決算及び会計監査報告

令和元年度決算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで
振興会予算について下記の通り決算しました。

令和2年3月31日

振興会会長 大村政幸 ㊟

会計監査報告

会計諸帳簿、証憑書類監査の結果
この決算は、正当なものとして認めます。

令和2年6月9日

会計監査 浅井明奈 ㊟

高橋史絵 ㊟

豊田久美子 ㊟

水野小有里 ㊟

令和元年度 椋山女学園大学振興会決算書

収入の部

単位、円

区 分	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
1、入会金	2,986,000	2,982,000	4,000	円 名
生活科学部	544,000	544,000	0	2,000×272
国際コミュニケーション学部	460,000	460,000	0	2,000×230
人間関係学部	476,000	476,000	0	2,000×238
文化情報学部	544,000	540,000	4,000	2,000×270
現代マネジメント学部	392,000	392,000	0	2,000×196
教育学部	356,000	356,000	0	2,000×178
看護学部	214,000	214,000	0	2,000×107
2、会費	24,096,000	24,124,000	-28,000	
生活科学部	4,376,000	4,380,000	-4,000	4,000×1095
国際コミュニケーション学部	3,876,000	3,892,000	-16,000	4,000×973
人間関係学部	3,792,000	3,792,000	0	4,000×948
文化情報学部	4,228,000	4,228,000	0	4,000×1057
現代マネジメント学部	3,228,000	3,228,000	0	4,000×807
教育学部	2,852,000	2,856,000	-4,000	4,000×714
看護学部	1,744,000	1,748,000	-4,000	4,000×437
3、その他の収入	960,000	1,061,057	-101,057	社会見学会会費1,060,900円、普通預金利息157円
4、前年度繰越金	2,412,297	2,412,297	0	
合 計	30,454,297	30,579,354	-125,057	

支出の部

単位、円

区 分	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
1、補助費	17,674,300	12,969,635	4,704,665	
(1)課外活動補助	6,700,000	5,366,007	1,333,993	クラブ、同好会への補助
(2)課外活動学生傷害補助	50,000	0	50,000	
(3)大学祭等行事費補助	2,128,700	1,828,485	300,215	大学祭等へ補助、入学式の祝い花
(4)海外留学補助	3,500,000	900,000	2,600,000	9名 ※200万円はR2年度より派遣交換留学生に対しても補助するための積立資金
(5)就職活動補助	3,000,000	3,000,000	0	キャリアアガイドブック、マナー講座等講師謝礼、就職活動関係書籍等
(6)学部補助 (生活科学部)	219,600	220,000	-400	消耗品
(国際コミュニケーション学部)	198,000	197,640	360	消耗品
(人間関係学部)	191,800	190,611	1,189	記載台等
(文化情報学部)	213,000	209,995	3,005	傘立て
(現代マネジメント学部)	162,800	161,570	1,230	消耗品
(教育学部)	142,800	143,537	-737	液晶プロジェクター等
(看護学部)	87,600	87,600	0	レンタルグリーン大鉢等
(7)事業補助	780,000	624,190	155,810	寮会補助、徳川美術館メンバーシップ、名古屋市博物館大学パートナーシップ加盟料、ベストティーチャー賞(賞金、賞品) お香典4件
(8)慶弔費	300,000	40,000	260,000	
2、事業費	7,544,000	7,546,280	-2,280	
(1)図書、備品等充実	2,600,000	2,629,200	-29,200	振興会文庫、傘立て、モバイル端末充電タワー等
(2)卒業記念品贈呈	894,000	772,200	121,800	証書ファイル@520円×1,350冊(税抜)
(3)社会見学会	1,500,000	1,627,546	-127,546	11月2日実施
(4)父母の集い等開催費	2,550,000	2,517,334	32,666	9月28日実施
3、会合費	900,000	880,501	19,499	評議員会、役員会等開催 6月10日、7月9日開催
4、事務費	1,500,000	1,255,685	244,315	
(1)印刷費	500,000	507,557	-7,557	会報、「父母の集い」案内、「社会見学会」案内、角2封筒等
(2)事務諸費	1,000,000	748,128	251,872	郵便料等
5、大学開学75周年記念事業費	1,000,000	1,000,000	0	R6年度 大学開学75周年記念事業積立
6、故椋山正弘先生学園への特別寄付	1,000,000	1,000,000	0	
7、予備費	835,997	0	835,997	
8、次年度へ繰越	0	5,927,253	-5,927,253	
合 計	30,454,297	30,579,354	-125,057	

4 令和2年度役員・会計監査・評議員・顧問（敬称略）

(1) 評議員（会則第6条による）

稲垣麻紀(生・管・2017)	間瀬知子(国・表・2019)	伊藤智恵美(情・情・2019)	佐藤浩子(教・初・2018)
真鍋桂子(生・管・2016)	神谷優希(国・言・2020)	木下悦子(情・情・2019)	水野小有里(教・初・2018)
野々垣早苗(生・環・2017)	坂口奈美(国・言・2020)	松山麻穂代(情・情・2020)	浅野由美(教・初・2019)
日高智子(生・管・2018)	濱野美香(人・人・2017)	平田敬子(情・メ・2020)	近藤ゆかり(教・初・2019)
平子幸子(生・環・2018)	河村佳代(人・心・2017)	中村幸子(現・2017)	石川亜紀(教・保・2020)
三戸知枝乃(生・管・2019)	肩野和子(人・心・2018)	山崎美恵子(現・2017)	市原一子(教・初・2020)
谷川園美(生・管・2019)	田中明枝(人・心・2018)	白鳥容子(現・2018)	河口真左美(看・2017)
戸谷美香(生・管・2020)	村山麻美(人・人・2019)	半谷真由美(現・2018)	木村はづき(看・2017)
勝又恭子(生・環・2020)	高橋倫代(人・心・2019)	尾関永美子(現・2019)	太田美佳子(看・2018)
手塚貴恵(国・言・2017)	篠田知美(人・人・2020)	糟谷恭子(現・2019)	永野聡美(看・2018)
山川紀美(国・表・2017)	八神裕子(人・心・2020)	江崎潤子(現・2020)	今津由実(看・2019)
篠田直子(国・表・2018)	木村展史(情・メ・2017)	飛矢ひとみ(現・2020)	辻朱美(看・2019)
平山寿美恵(国・表・2018)	都梅厚美(情・メ・2018)	今井綾子(教・保・2017)	西井真澄(看・2020)
久多羅木美佐(国・表・2019)	堀英恵(情・メ・2018)	小田島裕代(教・保・2017)	中村幸恵(看・2020)

(2) 役員・会計監査（会則第5条第1号による）

会長 北原大志(国・表・2017) 新任	会計 伊藤美穂(生・管・2017) 再任
副会長 山内美香(教・初・2017) 再任	会計 大柳直美(人・人・2017) 再任
副会長 深谷尚義(生・管・2018) 新任	会計監査 豊田久美子(生・環・2019) 再任
書記 伊原充絵(生・管・2017) 再任	会計監査 高橋史絵(生・環・2019) 再任
書記 杉山盾子(国・言・2018) 再任	会計監査 浅井明奈(教・初・2019) 再任
書記 水野小有里(教・初・2018) 新任	会計監査 佐野真吾(国・言・2020) 新任

(3) 顧問（会則第5条第2号による）

学 長 後藤宗理	教育学部長 竹内聖彦
生活科学部長 藏澄美仁	看護学部長 粥川早苗
国際コミュニケーション学部長 水島和則	学 長 補 佐 内藤通孝
人間関係学部長 五百部 裕	学 長 補 佐 長澤唯史
文化情報学部長 黒田由彦	総務部長 吉川ひとみ
現代マネジメント学部長 黒田達朗	

5 令和2年度事業計画

1. 補助関係

- | | |
|---------------|-----------|
| (1)課外活動補助 | (5)就職活動補助 |
| (2)課外活動学生傷害補助 | (6)学部補助 |
| (3)大学祭等行事費補助 | (7)事業補助 |
| (4)海外留学補助 | (8)慶弔費 |

3. 会合費（役員会、評議員会 年2回開催予定）【中止】

4. 大学開学75周年記念事業費積立

5. 新型コロナウイルス対策学生補助費

2. 事業費

- | |
|------------------|
| (1)図書・備品等充実 |
| (2)卒業記念品贈呈 |
| (3)社会見学会【中止】 |
| (4)父母の集い等開催費【中止】 |

6 令和2年度収支予算

収入の部

単位、円

区 分	令和2年度	平成元年度	前年度比増減	備考（※学生数は5月1日の休学者を除く学生数）
1、入会金	2,860,000	2,986,000	-126,000	
生活科学部	526,000	544,000	-18,000	2,000円×(262名+編入1名)
国際コミュニケーション学部	436,000	460,000	-24,000	2,000円×(211名+編入7名)
人間関係学部	458,000	476,000	-18,000	2,000円×(225名+編入4名)
文化情報学部	486,000	544,000	-58,000	2,000円×(241名+編入2名)
現代マネジメント学部	402,000	392,000	10,000	2,000円×201名
教育学部	350,000	356,000	-6,000	2,000円×175名
看護学部	202,000	214,000	-12,000	2,000円×101名
2、会費	23,864,000	24,096,000	-232,000	
生活科学部	4,324,000	4,376,000	-52,000	4,000円×1081名
国際コミュニケーション学部	3,676,000	3,876,000	-200,000	4,000円×919名
人間関係学部	3,856,000	3,792,000	64,000	4,000円×964名
文化情報学部	4,144,000	4,228,000	-84,000	4,000円×1036名
現代マネジメント学部	3,304,000	3,228,000	76,000	4,000円×826名
教育学部	2,884,000	2,852,000	32,000	4,000円×721名
看護学部	1,676,000	1,744,000	-68,000	4,000円×419名
3、その他の収入	0	960,000	-960,000	預金利息 R2年度は社会見学会中止の為、社会見学参加費分を減額
4、前年度繰越金	5,927,253	2,412,297	3,514,956	
合 計	32,651,253	30,454,297	2,196,956	

支出の部

単位、円

区 分	令和2年度	平成元年度	前年度比増減	備考（※学生数は5月1日の学生数）
1、補助費	20,212,100	17,674,300	2,537,800	
(1) 課外活動補助	6,700,000	6,700,000	0	クラブ・同好会活動補助5,000,000円、特別活動補助1,000,000円、クラブ紹介印刷700,000円
(2) 課外活動学生傷害補助	50,000	50,000	0	課外活動中の傷害で13日以内の治療費の補助
(3) 大学祭等行事費補助	2,107,700	2,128,700	-21,000	大学祭等の補助、@350円×6022名
(4)-1 海外留学補助(今年度分)	3,500,000	1,500,000	2,000,000	認定留学、中期留学、派遣交換留学生への補助
(4)-2 海外留学補助(翌年度分)	2,000,000	2,000,000	0	今年度中に募集する派遣交換留学生の翌年度分の補助額
(5) 就職活動補助	3,600,000	3,000,000	600,000	キャリアサポートガイド、マナー講座等
(6) 学部補助	1,204,400	1,215,600	-11,200	
生活科学部	217,400	219,600	-2,200	200円×1087名
国際コミュニケーション学部	187,600	198,000	-10,400	200円×938名
人間関係学部	195,800	191,800	4,000	200円×979名
文化情報学部	208,200	213,000	-4,800	200円×1041名
現代マネジメント学部	166,000	162,800	3,200	200円×830名
教育学部	145,200	142,800	2,400	200円×726名
看護学部	84,200	87,600	-3,400	200円×421名
(7) 事業補助	750,000	780,000	-30,000	寮会補助、徳川美、名古屋博物館、ベストティーチャー賞、名古屋博物館「大学パートナーシップ」年会費280,000円(R2)
(8) 慶弔費	300,000	300,000	0	学生保護者逝去時お香典、自宅火災の際等のお見舞金 1万円
2、事業費	3,894,800	7,544,000	-3,649,200	
(1) 図書、備品等充実	2,900,000	2,600,000	300,000	振興会文庫 1,400,000円 備品等(学生課) 1,000,000円 備品等(管財管繕課) 500,000円
(2) 卒業記念品贈呈	994,800	894,000	100,800	卒業証書ファイル @600×1658名
(3) 社会見学会	0	1,500,000	-1,500,000	R2年度は社会見学会中止
(4) 父母の集い等開催費	0	2,550,000	-2,550,000	R2年度は父母の集い中止
3、会合費	0	900,000	-900,000	R2年度は評議員会、役員会(6月、7月)中止
4、事務費	1,500,000	1,500,000	0	
(1) 印刷費	500,000	500,000	0	報告書、会報、封筒等印刷費
(2) 事務諸費	1,000,000	1,000,000	0	大学報郵送料、事務用品購入等
5、大学開学75周年記念事業費	1,000,000	1,000,000	0	R6年度 大学開学75周年に向けて100万円積立てる
6、故郷山正弘先生学園葬への特別寄付	0	1,000,000	-1,000,000	
7、新型コロナウイルス対策学生補助費	6,000,000	0	6,000,000	飛沫防止用パーテーション 3,800,000円 体表温度検知カメラ 1,400,000円 保護者向け動画制作 800,000円
8、予備費	44,353	835,997	-791,644	
合 計	32,651,253	30,454,297	2,196,956	

第1条 本会は、椋山女学園大学振興会といい、事務所を椋山女学園大学内に置く。

第2条 本会は、椋山女学園大学の教育及び研究振興に協力し、併せて会員相互の連携を計ることを目的とし、諸種の事業を行う。

第3条 本会は、椋山女学園大学に在籍する学生の父母をもって組織する。

第4条 本会には、次の役員、会計監査及び顧問・参与を置く。任期は1年とし、その任務は次のとおりとする。

会 長	1名	本会の会務を総理し、会議の議長となる。
副 会 長	2名	会長を補佐し、会長事故ある場合は職務を代行する。
書 記	3名	本会の書記を掌る。
会 計	2名	本会の会計を掌る。
会 計 監 査	4名	本会の会計を監査する。
顧問・参与	若干名	会長の諮問に応じ、会議に出席することができる。

第5条 本会の役員、会計監査及び顧問・参与は、次のように定める。

- (1) 役員及び会計監査は、毎年度初めに評議員会において、役員選考委員会によって選出された候補者について承認を得て定める。役員選考委員会は、評議員会から推薦された各学部在籍する学生の父母である評議員各1名をもって構成する。
- (2) 顧問・参与は、会長が必要に応じ、役員会に諮って委嘱する。

第6条 本会に評議員を置く。評議員は、各学部の各学年に在籍する学生の父母のうちから推薦された代表者各1名又は2名とし、任期は子女である学生の在籍期間とする。

第7条 本会は、次の会を持つ。各会は、構成員の2分の1以上出席して成立し、議決は、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。

- (1) 役員会は、本会の運営について審議企画する。役員会は、役員及び会計監査をもって構成し、会長がこれを招集する。
- (2) 評議員会は、予算、決算及び役員承認等重要事項を議決し、会員に報告する。評議員会は、毎年度初めに会長が招集する。

第8条 本会の経費は、入会金2,000円、会費年額4,000円及びその他収入をもって充てる。

2 入会金は入学時の、会費年額は毎学年度の初めの、それぞれ別に指定する日までに、事務所に納入する。

第9条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第10条 本会則の改廃は、評議員の議決を要する。

附 則

本会則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

1 本会則は、昭和58年4月1日から施行する。

2 改正後の第8条に規定する入会金・会費の金額については、昭和58年以後に入学した学生の父母について適用し、昭和57年度以前に入学した学生の父母については、改正前の金額を適用する。

附 則

本会則は、昭和58年6月11日から施行する。

附 則

本会則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、昭和60年度以前に入学した学生の父母に対しては、第8条に規定する入会金・会費の金額について、改正前の金額を適用する。

附 則

本会則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

本会則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

本会則は、平成13年4月1日から適用する。

附 則

本会則は、平成29年4月1日から適用する。